

■ グループホームしんあい(令和元年度事業報告)

令和元年度経営方針

障害者総合支援法に規定する共同生活援助事業(8 ホーム、定員 42 名)として、障がいのある方が住み慣れた地域において、家庭的な雰囲気の中で共同し、自立した生活を営むための支援を行う。

また、利用者の高齢化、重度化傾向を踏まえ、必要なホームの整備を進めるとともに、定員増を含めた今後のグループホームの在り方の具体的な検討を始める。

令和元年度取り組み

1 利用者支援

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>◆ 利用者のニーズに沿った個別支援計画の作成</p> <p>アセスメント、計画作成、モニタリングの適切な実施の為に、引継ぎや会議の中で個別支援計画についての取組状況を報告するようにする。</p>	<p>職員会議、引継ぎを通して随時個別支援計画に基づいた支援の必要性を確認し、職員間での情報共有ができるよう取り組んだ。</p>
<p>◆ 虐待防止、権利擁護に努め、利用者に寄り添った意思決定支援を行う</p> <p>① 虐待防止、権利擁護に関する外部研修へ参加や内部研修を実施する。</p> <p>② 日々の支援の中で意思決定支援を行なうことができているかを会議や引継ぎで確認をする。</p>	<p>① 虐待防止の外部研修に 2 名参加、内部研修は 1 月に実施した。</p> <p>② 職員会議等で利用者本位の支援のあり方の重要性を確認してきた。</p>
<p>◆ 余暇支援の充実</p> <p>① ケース担当、サービス管理責任者による余暇支援に関するニーズを把握する。</p> <p>② ニーズ整理を行い、個別の余暇支援や集団で行なう余暇支援を計画的に設定する。</p> <p>③ 移動支援事業所との連絡調整を行う。</p> <p>④ クラブ活動の充実を図る。</p> <p>⑤ ボランティアの積極的な活用を行う。</p>	<p>① アセスメント、モニタリングや日常支援を通して把握を行った。</p> <p>② 40 周年記念行事として日帰り旅行(群馬方面)を行い好評であった。(参加利用者 36 名)</p> <p>その他、カラオケ外出やみどりのまち親愛の高沢ホールを利用した映画鑑賞等も計画的かつ臨機応変に行っている。</p> <p>③ 随時、事業所と連絡調整を行った。</p> <p>④ 料理クラブ、映画クラブ、美術クラブ、大人の休日クラブを計画的に行うことができた。しかし、3 月については、新型コロナウイルスの影響で外出は行うことができなかった。</p> <p>⑤ 行事の際に 1 名参加してもらった。積極的な活用までには至っていない。</p>

2 人材育成

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>◆ 外部研修への参加</p> <p>① 外部研修の内容を職員会議等で報告し、事業所全体の支援の質の向上を図る。</p> <p>② 強度行動障害研修に参加する。(実践研修2名、基礎研修5名)</p>	<p>① 13名が外部研修に参加した。</p> <p>② 実践研修2名、基礎研修3名が参加し、受講終了した。予定していた2名については、その他の研修日程との調整を図り、来年度受講予定とした。</p>
<p>◆ 内部研修の実施</p> <p>① 虐待防止、権利擁護研修の実施する。(年1回)</p> <p>② GSV(グループスーパービジョン)を定期的実施する。(月1回)</p> <p>③ 視察研修を実施する。(年1回)</p> <p>④ 地域生活定着支援に関する研修を実施する。(年1回)</p> <p>⑤ 採用時研修の充実を図る。(採用時)</p>	<p>① 虐待防止研修を1月に実施した。</p> <p>② 勤務体制の都合上、毎月ではないが年間で9回実施し、ストレングスの視点やアセスメントの重要性を学ぶことができた。</p> <p>③ 11月に社会福祉法人清心会の視察研修を行った。(職員9名)</p> <p>④ 埼玉県地域生活定着支援センターの職員を講師とした研修を2月に実施した。</p> <p>⑤ 年度内に非常勤職員2名を採用したので、OJTを行った。</p>
<p>◆ 職員定着を図る為に働きやすい職場環境を整える</p> <p>① 職員事務所の整備と動線を確保する。</p> <p>② 職員間の日々のコミュニケーションを重視し、年次有給休暇を取得しやすい風土作りを目指し、年次有給休暇消化率の向上を図る。</p>	<p>① 事務所の備品を整理し、作業スペース確保したことで無駄のない動線づくりが行えた。</p> <p>② ワークライフバランスの充実をチーム目標にし、昨年と比較して大幅な消化率の向上を図ることができた。(消化率約90%)</p>

3 施設設備管理

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>◆ 消防設備点検</p> <p>① 消防設備点検を業者に委託する。(年2回、約50万円)</p> <p>② 消防設備の自主点検を行う。</p>	<p>① 見積合わせの結果、エムケー防災株式会社と契約した。年間393,080円。9月に総合点検を実施、3月に機器点検を実施した。</p> <p>② 担当職員が随時行った。</p>
<p>◆ 居住棟の環境整備</p> <p>定期的に巡回を行ない、清潔な環境の維持、設備、備品等の点検を行う。</p>	<p>適宜行っている。</p>

<p>◆ エアコンの整備</p> <p>各ホームの居室で年式の古いエアコンを順次入れ替える。(10台、70万円)</p>	<p>4月に10台を入れ替えた。はみんぐ6台、あつとホーム1台、どりーむ3台。699,500円</p>
<p>◆ パソコンの入替</p> <p>OS変更によるPCの入替</p>	<p>4台を入れ替えた。3年リース月額12,850円</p>

4 危機管理

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>◆ 火災防止</p> <p>① 自主点検表に基づき全ホームで防火等に関する点検を行う。</p> <p>② 消防計画を基に消火訓練、夜間想定避難訓練、通報訓練を実施する。(年2回)</p>	<p>① 随時行っている。</p> <p>② 9月23日と3月20日に実施した。</p>
<p>◆ 災害対策</p> <p>① 防災計画の更新を行う。</p> <p>② 積雪や大雨等の防災情報を基に、混乱を防止する為計画的に勤務命令を出す。</p>	<p>① 一部変更(点検業者の変更)し更新を行っている。</p> <p>② 台風の際に、事前に勤務調整を行い、大きな混乱なく対応することができた。</p>
<p>◆ 安全運転管理</p> <p>① 安全運転管理者を中心に、車両事故防止に努める。</p> <p>② ドライブレコーダーの映像を定期的に確認し、事故報告書やひやりはっと報告の検証を行う。</p>	<p>① 随時、最新の情報等を職員会議や引継ぎの際に報告し、注意喚起を行っている。</p> <p>② 年間事故件数6件。事故の際には、ドライブレコーダーの映像を本人と確認し検証を行った。</p>

5 その他

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>◆ 地域社会との共生</p> <p>① 自治会への参加を行なう。</p> <p>② 地域行事への参加や普段の挨拶を中心に地域の方とコミュニケーションをとる</p>	<p>①②適宜、各自治会の行事やゴミゼロ運動に参加した。</p>
<p>◆ 地域における公益的な取り組みとしてホーム周辺の夜回り活動を行う</p> <p>職員と利用者数名で各ホームの周辺地域の夜回り活動を行う。</p>	<p>年間8回行った。基本的に職員1名利用者2名程度で夜間ホーム周辺を歩いて実施することができた。</p>

<p>◆ 中長期計画の作成</p> <p>① 新規物件の調査と情報収集を図る。</p> <p>② 地域及び法人内事業所利用者のニーズを把握し、連携を図る。</p>	<p>① 随時行い、その都度調査しているが、現時点ではニーズと合致する物件等はないが、建て貸しの物件で引き続き探していく。</p> <p>② 現在入居している利用者の身体状況やニーズを把握し、今後のホームのあり方や運営について検討した。</p>
--	--

■ グループホームしんあい(令和元年度事業報告 資料)

令和2年3月31日現在

①利用者状況

(1)障害支援区分(名)

支援区分	全8ホーム		
	男	女	計
区分6	6	0	6
区分5	8	5	13
区分4	4	2	6
区分3	6	1	7
区分2	5	0	5
区分1	1	0	1
非該当	4	0	4
合計	34	8	42

(2)年齢構成(名)

区分 種別	性別	20歳未 満	20歳以 上～30 歳未満	30歳以 上～40 歳未満	40歳以 上～50 歳未満	50歳以 上～60 歳未満	60歳以 上	平均 (歳)
		全8ホーム	男	1	2	3	6	7
女	0		0	0	1	3	4	58
計	1		2	3	7	10	19	54

(3)日中活動・就労状況(名)

区分 ホーム	ワークス しんあい	親愛センタ 一通所部	親愛南の 里	法人外事 業所	一般就労	その他	計
全ホーム	14	9	3	8	9	0	43 (重複して活 動している方 1名)

②事業所状況

(1)各事業の実施状況

事業名	定員(名)	平均利用人数(名)	利用率(%)
共同生活援助	42	41.1	97.8